

簡易診断

□定植後間もない樹で発生する

□幹や地際部から赤い樹液の漏出や漏出痕が見られる

□樹液を漏出している部位の樹皮を削るとアルコール臭がある

□梅雨時や収穫後に急な落葉と枯死が起こる

□園地の排水性が悪い

正確な診断には、病原菌の分離・同定・検定等を実施する必要があるため、最寄りの普及指導センターや病害虫防除所等の関係機関に相談してください。

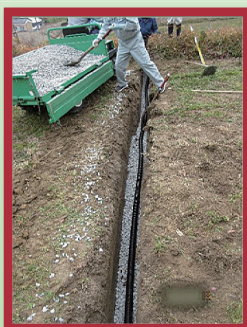
連絡先

対策技術

・本病害に有効な農薬は登録されておらず、これに頼らない防除が必要です。
・対策技術については現在も研究開発中ですが、以下のような対策が有効な場合があります。

□園地排水性の改善

- ・暗渠・明渠を設置する。
- ・植穴の土壤改良と盛土を併用する。



暗渠の設置（左）



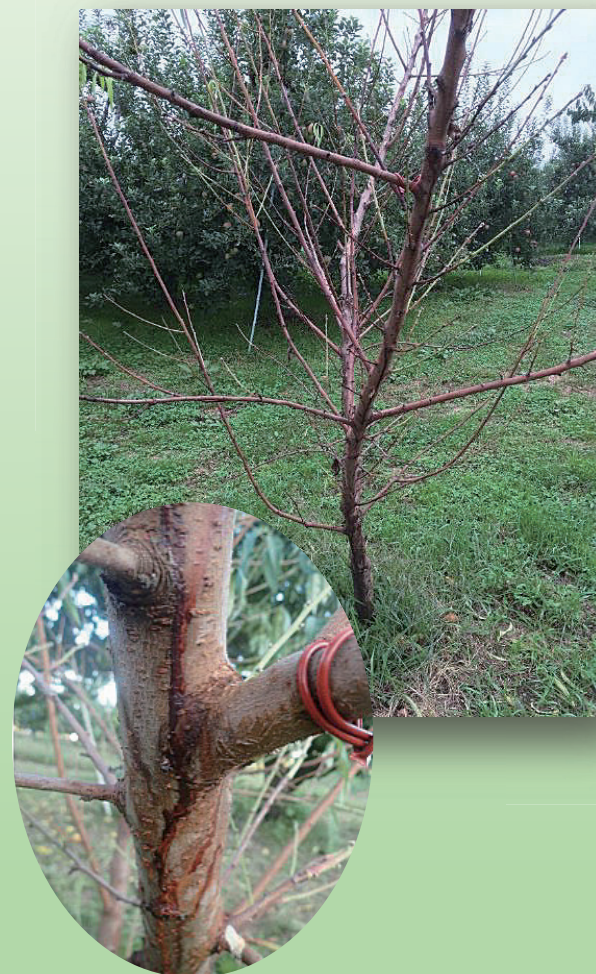
土壤改良（下）

□樹勢の管理

基肥を多く施用せず、必要に応じて適宜追肥する。

制作：みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業
（現場ニーズプロジェクト）「果樹等の幼木期における安定生産技術の開発」（JPJ008720）小課題1（急性枯死）
担当：農研機構・愛知農総試・岩手農研・岡山農水総セ・佐賀果樹試・東京農大・福島農総セ

モモ・ナシ・リンゴ
農家のみなさんへ



園地で、赤い樹液を流して
枯死する樹はありませんか？

それはモモ・ナシ・リンゴの胴枯細菌病かもしれません

病徴 ・ 赤い樹液の漏出
・ 急激な枯死

モモ



モモ



ナシ



ナシ



リンゴ

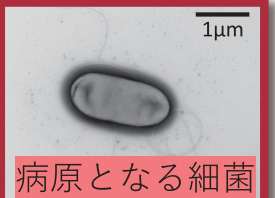


リンゴ

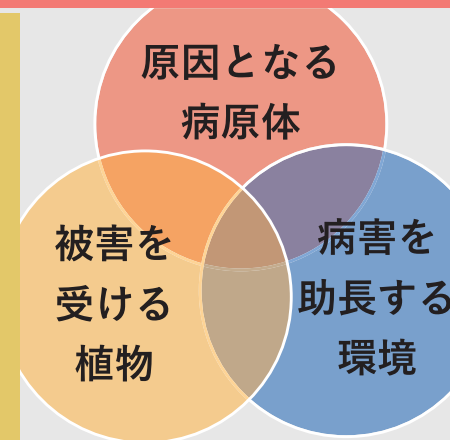


病気が起こる3要素

- ・ *Dickeya dadantii* (ディケア・ダダンティ) を主とする植物病原細菌が原因菌。
- ・ 空気が少ない滞水条件でも生育できる。



- ・ 若く強樹勢の樹で発生が多い。多肥が発病を助長する可能性あり。
- ・ ナシ・モモでは穂品種間で感受性の差がありそうだが耐病性品種は無い。
- ・ リンゴではJM台よりもM.26台が比較的強い。



- ・ 排水性の悪い園地（水田転換園や河川の隣接園）。
- ・ 高温・多雨。
- ・ 園地雑草で菌が生存できる。

良く似た病害・障害

- ① 凍害
- ② 胴枯病 (モモ・ナシ)
- ③ 腐らん病 (リンゴ)
- ④ 果樹類紋羽病

